

武蔵野の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

## 武蔵野の公園で見られるイモムシ



● **キアゲハ** (アゲハチョウ科)  
 ・時期：3～11月  
 ・大きさ：50mmほど  
 ・食草：セリ、ミツバなどのセリ科  
 黒いしま模様とオレンジ色のはんてんが特徴。危険を感じると、頭からオレンジ色のくさい角を出します。



● **ジャコウアゲハ** (アゲハチョウ科)  
 ・時期：4～10月  
 ・大きさ：40mmほど  
 ・食草：ウマノズクサなど  
 全身にある太くて先の赤い突起が特徴。食べた草の毒を体の中に入れて、敵に食べられないようにしています。



● **クロアゲハ** (アゲハチョウ科)  
 ・時期：4～9月  
 ・大きさ：55mmほど  
 ・食樹：サンショウ、ミカンなど  
 背中が目玉模様と白い線が特徴。少し暗いところにあるミカンの木などにいるのがよく見られます。



● **ゴマダラチョウ** (タテハチョウ科)  
 ・時期：6～9、10～5月  
 ・大きさ：39mmほど  
 ・食樹：エノキなど  
 頭の角と背中突起が特徴。冬にエノキの落ち葉をめくると、冬ごし中の茶色い幼虫が見られます。



● **アカボシゴマダラ** (タテハチョウ科)  
 ・時期：6～9、10～5月  
 ・大きさ：40mmほど  
 ・食樹：エノキなど  
 見た目も食べ物もゴマダラチョウに似ていますが、本州にいるものは元々中国にいた「外来種」です。

● 特定外来生物…飼育・移動などは禁止されています



● **ツマグロヒョウモン** (タテハチョウ科)  
 ・時期：5～10、11～4月  
 ・大きさ：40～45mm  
 ・食草：スミレ、パンジーなど  
 黒い体と赤い突起が特徴。花だんのパンジーなどを食べることもあり、公園や人の家の周りでも見られます。



● **ルリタテハ** (タテハチョウ科)  
 ・時期：5～9月  
 ・大きさ：43mmほど  
 ・食草：ホトトギスなどユリ科  
 オレンジ色の体と黒い点、白っぽいトゲが目立ちます。毒は持っており、よく葉の裏で丸くなっています。

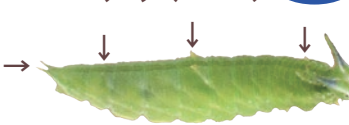


● **クロコノマチョウ** (タテハチョウ科)  
 ・時期：5～10月  
 ・大きさ：50mmほど  
 ・食草：ススキ、ヨシなどのイネ科  
 黒くて毛の生えた頭と角が特徴。イネ科の葉を、中心のかたい部分(葉脈)を残し食べていくので、食べたあとが残ります。

### 外国から来たそっくりさん

ゴマダラチョウとアカボシゴマダラは似てはいますが、武蔵野で見られるアカボシゴマダラは、人が連れてきて放してしまった外来種です。この2種類の幼虫を見分けてみましょう！

ゴマダラチョウ **在来種**



・せなかのときは3対  
 ・おなかの先はわれている

アカボシゴマダラ **外来種**



・せなかのときは4対  
 ・おなかの先はわれていない

人がアカボシゴマダラを放してしまったことで、ゴマダラチョウはすみかや食べものをうばわれてしまっているといわれています。  
**生きものはぜったいに放さないでください！**

武蔵野の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。



● **イラガ** (イラガ科)  
 ・時期：7～10月  
 ・大きさ：25mmほど  
 ・食樹：サクラ、カキノキなど  
 黄緑の体に茶色と青の模様、全身にあるトゲが特徴。トゲには毒があり、触ると八チにさされたような強い痛みを感じます。



● **オオミズアオ** (ヤママユガ科)  
 ・時期：5～10月  
 ・大きさ：75mmほど  
 ・食樹：サクラ、クヌギ、クリなど  
 大きな体で、背中突起から長い毛が生えているのが特徴。さなぎになる直前は、体がオレンジ色に変わります。



● **セスジスズメ** (スズメガ科)  
 ・時期：6～10月  
 ・大きさ：80mmほど  
 ・食草：ヤブガラシ、ホウセンカなど  
 黄色と赤色の模様が特徴で、おしりにアンテナのような「尾角」を持ちます。野菜などをよく食べる大きな幼虫です。



● **モンクロシャチホコ** (シャチホコガ科)  
 ・時期：8～10月  
 ・大きさ：50～60mm  
 ・食樹：サクラ、ウメなど  
 むれでサクラなどの葉を食べる赤茶色の毛虫。頭とおしりを持ち上げ、しゃちほこのようなポーズをするのが名前の由来です。



● **アケビコノハ** (ヤガ科)  
 ・時期：5～10月  
 ・大きさ：60mmほど  
 ・食樹：アケビ、ムベなど  
 青い星のような模様が美しい幼虫。危険を感じると背中が目玉模様を持ち上げて、いかくのポーズをします。



● **チャドクガ** (ドクガ科)  
 ・時期：4～9月  
 ・大きさ：25-30mm  
 ・食樹：チャ、サザンカ、ツバキなど  
 長い毛を持ち、数十匹で並んで葉を食べるのが特徴。毒のある細かい毛が風などで飛ぶと、近づいただけでかぶれてしまうこともあります。



● **マイマイガ** (ドクガ科)  
 ・時期：4～6月  
 ・大きさ：60mmほど  
 ・食樹：ヤナギ、サクラ、他様々な樹木  
 背中赤色と青色の点、ブタの鼻のような模様の顔が特徴。生まれただての幼虫の毛には毒があり、さわるとかぶれることがあります。



● **キアシドクガ** (ドクガ科)  
 ・時期：4～5月  
 ・大きさ：35～40mmほど  
 ・食樹：ミズキ、クマノミズキなど  
 黒い体と黄色い点々とした模様が特徴。名前に「ドク」がつきますが、毒はありません。年によって大発生することがあります。

### 木の葉を食べつくすイモムシ！？

春先のミズキの花が咲く季節、雑木林で白いガがたくさん飛んでいるのが見られます。このガはキアシドクガといい、幼虫はミズキの葉や茎を食べて成長します。時に大発生することがあり、ミズキの葉が食べつくされてなくなってしまうことがあるので、木が枯れるのではと心配する人も多いです。しかし心配ご無用。ミズキはこんな時のために「休眠芽」という予備の芽を持っており、そこから夏にまた葉を出すことができます。休眠芽から新しい葉がのびる頃には、キアシドクガの幼虫は成長し、葉が食べられることはありません。この時期には金色の蛹や真っ白な成虫を見ることができますよ！さがしてみてくださいね！



● 大きさ…終齢幼虫の大きさ

● 時期…幼虫が出現する時期